

ほほえみ



社会福祉法人苫前町社会福祉協議会 苫前郡苫前町字旭37番地の1 苫前地区コミュニティセンター内
TEL 0164-64-2387 FAX 0164-64-9090 ホームページ <https://www.protech-web.co.jp/homepage/tomamae>

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします！

今年度も10月1日より、赤い羽根の共同募金運動が全国一斉に実施される予定です。

この募金運動は戦後にスタートし、今年度で第75回目を迎えます。お寄せいただいた募金は社会福祉協議会等が実施する地域福祉活動をはじめ、障害者等の施設の車両購入などに使われるほか、一部は「災害等準備金」として積み立てられ、大規模災害発生時に被災地のボランティアセンターの活動支援のために活用されています。地域住民の皆様には、共同募金運動の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、今年度のご当地ピンバッジの頒布を既に開始していますが、現在、「くまだとまお×クマ獅子」「カントリーサイン」に加え、北海道共通デザインの「北のどうぶつ～キタキツネ～」 「初音ミク」を合わせ、計4種類のバッジを取り扱っています。募金額500円につき、ご希望のバッジいずれか1つを進呈しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



車いすを寄贈いただきました



この度、株式会社ツルハホールディングス様及びクラシエホールディングス株式会社様から社会貢献活動の一環として北海道社会福祉協議会に車いすの預託があり、この内の5台を町社協に寄贈いただきました。

いただいたアルミ製車いすは、自走・介助兼用で、ノーパンクタイヤが採用されたメンテナンスが容易なモデルです。また、折り畳みが可能ですので、自動車への積み込みも簡単です。

今後、歩行が困難な地域住民に対し、急な入退院時や介護保険制度等の利用申請中に利用できる車いすの貸出事業などで活用させていただきます。ありがとうございました。

ふれあい倶楽部が開催されました

8月2日、今年度第2回目のふれあい倶楽部を開催しました。

24名の参加があり、午前中は西川加代子さんに講師を務めていただいて「フラワーアレンジメント」を楽しみ、午後からは社協職員が講師となって「ふまねっと運動」と「ラダーゲッター」に取り組みました。今回のラダーゲッターは、留萌管内老人クラブ連合会主催による交流会の開催も予定されているため、公式ルールに沿って行いました。

次回のふれあい倶楽部は10月6日に開催の予定です。皆様のご参加をお待ちしております。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、急きょ開催を中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



招魂祭が斎行されました

8月17日、苫前町戦没者追悼式に先立って、苫前町遺族会の主催による招魂祭が苫前神社境内の忠魂碑前で斎行されました。

福士敦朗苫前町長、阿部俊一苫前町議会議長、伊藤通康平和の鐘奉賛会会長、大井一弘苫前町社会福祉協議会会長を来賓に迎え、苫前町遺族会の森晃一会長ほか会員10名が参列しました。

斎主が祝詞を奏上し、参列者一人ひとりが玉串を捧げ、慰霊の祈りを捧げるとともに平和への誓いを新たにしていました。

生活福祉資金貸付制度のご案内

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象として実施している緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の新規受付が、令和3年11月末までに延長されています。

新型コロナウイルス感染症の影響にかかわらず、生活にお困りの場合は、そのほかの生活福祉資金制度を活用できる場合もありますので、お気軽にご相談ください。

まちなかサロンが開催されました



新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送っていた「まちなかサロン」ですが、7月、8月と開催することができました。久しぶりに顔を合わせる参加者やボランティアの間で話に花が咲き、楽しいひとときを過ごしていただけたかと思えます。

7月20日の第1回目では、苫前駐在所の目黒所長をお迎えして、交通安全などについて講話をいただきました。また、道内に1台しかない北海道警察の交通安全教育車「ほくと号」も呼んでいただき、運転時や歩行時の危険な状況をドライブシミュレーターで疑似体験し、さらに交通安全について意識を高めることができました。

また、8月18日開催の第2回目には、町保健福祉課の宮前保健師長と中谷管理栄養士をお迎えし、夏バテを予防し、残暑を元気に乗り切るための食事について教えていただきました。

なお、次回は9月21日に開催の予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

ボランティア活動をはじめませんか？

ボランティア活動には様々なものがありますので、ご自身で興味のあることや日ごろ気になっていることなどから、自分に合った活動を探してみてください。

苫前町ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい個人・団体の相談に応じていますが、ボランティア活動に来て欲しいといった受入側の要望などについてもお寄せください。

なお、ボランティア活動の際にはボランティア活動保険への加入をお勧めしていますが、センターに個人ボランティア・ボランティア団体として登録いただけますと、保険料をセンターの負担で加入することができますので、お気軽にお問い合わせください。

苫前町社会福祉協議会のボランティア募集

- **事業運営補助**
～ふれあい倶楽部やまちなかサロンなどの福祉事業において、事業運営を手伝っていただく方を募集しています。最初は、事業の様子の見学からでも構いません。
- **配食サービス補助**
～週1回、高齢者の見守りを兼ねてお弁当(夕食)をお届けするサービスの配達員を募集しています。見守り先(配達先)1件当たり200円の有償ボランティアになります。



苫前町共同募金委員会のボランティア募集

- **募金運動補助**
～イベントや企業訪問といった募金運動を手伝っていただく方を募集しています。一般の方に限らず、小学生以上の学生ボランティアも大歓迎です。

苫前町社会福祉協議会役員及び評議員の改選について

社会福祉法人苫前町社会福祉協議会の役員及び評議員について、任期満了に伴う改選が6月29日にそれぞれ行われ、次のとおり選任されましたのでお知らせします。

役員(理事・監事)

会長	大井一弘	副会長	桑原明守
副会長	檜森光夫	理事	瀧川慎吾
理事	川森のり子	理事	加藤修
理事	池田文敏	理事	加賀谷之治
監事	加藤七穂子	監事	小田雅彦

評議員

工藤政尚	林道行
牧野弘一	鴨田智江
森晃一	横山正仁
清水辰雄	佐藤哲夫
對馬亨	千葉勇一
大野剛志	

プールでSUP体験を実施します！

SUP（サップ）とは、スタンドアップパドルボードの略で、専用のボードに乗って水の上を漕ぎ進むマリンスポーツです。最近注目されているスポーツで、海や川のアクティビティとしていろいろなところで体験も行われています。

普段なかなか体験できないSUPを体験してみませんか？ 初心者でも扱いやすいものですので、ぜひともチャレンジをお待ちしています！

日時 9月27日(月) 18時30分～20時

会場 苫前町B&G海洋センター

※苫前町公民館18時発の送迎車をご利用できます。希望される方は、申込時にお知らせください。

対象者 中学生以上の町民（大人も参加可能です）

定員 20名（定員に達し次第締め切ります）

申込み 9月21日(火)までに苫前町公民館（☎65-4076）へ電話で申し込みください。

持ち物 水着又は水に濡れても良い服装、着替え、タオル

～注意事項～

・スポーツ安全保険に必ず加入してください。

お申込は苫前町公民館又は苫前町役場2階子ども教育課で受け付けております。

・低温が予想されます。長袖長ズボンなど、暖かめの服装をおすすめします。



「正しく学ぶ！筋力トレーニング講座④」参加者募集！！

日時 10月30日(土) 13時30分～14時45分

場所 苫前町公民館

講師 健康運動指導士 澤田 友紀 氏

（学校法人三幸学園 札幌スポーツ&メディカル専門学校専門課長）

申込み 10月27日(水)までに苫前町公民館（☎65-4076）へ電話でお申し込みください。

持ち物 上履き・タオル・飲み物を持参し、動きやすい服装でご参加ください。

その他 ・イベント傷害保険には加入しませんので、各自スポーツ安全保険に加入してください。

・第3回は9月19日(日)12時50分から14時45分まで「骨と筋肉のための料理教室&正しく学ぶ！筋力トレーニング」として実施いたします。定員に余裕がある場合は参加が可能です。参加を希望される方は苫前町公民館へお問い合わせください。



苫前町公民館図書室の新刊を紹介します

小説8050

ぼくのお父さん

疲れないカラダ大図鑑

母ちゃんのフラフープ

すぐに役立つ366日記念日事典 上下巻

患者さん向け耳鳴診療Q&A

ウー・ウェンの100gで作る北京小麦粉料理

林 真理子 / 新潮社

矢部 太郎 / 新潮社

夏嶋 隆 / アスコム

田村 淳 / ブックマン社

加瀬 清志 / 創元社

一般社団法人日本聴覚医学会 / 金原出版

ウー・ウェン / 高橋書店

他にもたくさんの新刊や道立図書館の借受本がありますので、ぜひご利用ください。

～あなたの学びを応援します～

苫前町公民館

☎65-4076 FAX 65-3220
Email shakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp

秋の全国交通安全運動の実施

秋の全国交通安全運動が9月21日から9月30日まで実施され、9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

一人一人が交通ルールを正しく守り、思いやりのある交通マナーで、交通事故死ゼロを目指しましょう。歩行者の皆さん、外出する時は、白っぽい服装や反射材を身に付けましょう。

ドライバーの皆さん、飲酒運転は悪質な犯罪です。「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底し、『二日酔い運転』を含めた飲酒運転を根絶しましょう。

また、自転車に乗るときは、子どもはもちろん大人も乗車用ヘルメットをかぶり、夜間は自転車の側面に反射器材をつけるようにしましょう。万が一に備え、自転車損害賠償保険等に加入するようにしましょう。

ヒグマによる被害防止のために

○野山には1人で入らず、複数で行動するようにしましょう。

入山する時は、クマ鈴やラジオ等を持って、会話しながら、人の存在を知らせましょう。

○薄暗い時の行動は避け、野山に入る前には、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報等を確認しましょう。

○ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになります。

ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

○ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。



サイバーセキュリティ対策の推進

携帯電話機の番号を使ったメール（SMS（ショートメッセージサービス））で、突然、『高額賞金が当選した』など身に覚えのない内容が送られてきたことはありませんか？ そのメールは偽物の可能性があります。

不審な偽サイトには接続せず、サイバーセキュリティ対策を実施しましょう。



問合せ先 羽幌警察署 ☎0164-62-1110

イベントカレンダー

※日程は変更となることがありますので、予めご確認ください。

9月→10月

日	月	火	水	木	金	土
	9月 20	21	22	23	24	25
26	プールでSUP 体験(苫前町B& G海洋センター) 18時30分～ 27	28	29	30	10月 1	2 特定健診・がん検診・ 肝炎ウイルス検診・ エキノコックス症検 診(苫前地区コミュ ニティセンター)
3 特定健診・がん検診・ 肝炎ウイルス検診・ エキノコックス症検 診(公民館)	4	5	6 1歳6か月児・ 3歳児健診 (公民館)	7	健康相談 (公民館) 10時～ 11時30分 8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19 健康相談(苫前地 区コミュニティセ ンター) 10時～11時	20 ラッコクラブ(両 親学級・乳児教 室)④(公民館)	21	22	23

狩猟期間中における国・道有林への入林自粛について

エゾシカ狩猟期間中（10月1日から3月31日まで）は、多くの狩猟者が国・道有林へ入林します。狩猟に伴う事故防止のため、この期間の狩猟目的以外での入林はお控えくださるようお願いいたします。エゾシカによる森林等被害を低減するため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

■問合せ先

林野庁北海道森林管理局留萌南部森林管理署 ☎ 0164-42-2515
 北海道水産林務部森林環境局道有林課道有林管理係 ☎ 011-204-5519（直通）

停電情報をLINE・チャットでお知らせします

停電情報をLINEでお知らせします。ぜひお友だち追加してください！



停電・設備に関するお問い合わせはチャットでも受付しています。ぜひご活用ください。



■問合せ先

北海道電力ネットワーク(株)羽幌ネットワークセンター
 ☎ 0120-060-163（平日 9時～17時）

ハロウィンジャンボ5億円
 (1等3億円・前後賞各1億円合わせて)
ハロウィンジャンボミニ5千万円
 (1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)
 この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
 各1枚 300円
9月22日(水) 2種類同時発売!
 発売期間 9/22(水)～10/22(金)
 公益財団法人北海道市町村振興協会

北海道の広報紙「ほっかいどう」がウェブ版(html版)で読めるようになりました

北海道発行の広報紙「ほっかいどう」が、北海道庁のホームページで今年度からウェブ版(html版)で読めるようになりました。パソコンやスマートフォンから手軽にご覧ください。

また、電子書籍ポータルサイト「Hokkaido ebooks」でもご覧になれます。

※「Hokkaido ebooks」をスマートフォン・タブレットでご覧いただく場合は専用アプリが必要です。



広報紙
「ほっかいどう」



電子書籍
ポータルサイト
「Hokkaido ebooks」

■問合せ先 北海道総合政策部知事室広報広聴課 ☎ 011-204-5110

公証週間のお知らせ

10月1日(金)から10月7日(木)までは公証週間です。

公証人は、公証役場において遺言や大切な契約などの公正証書の作成、会社を設立する際の定款の認証などを行っています。

公証人は、法務大臣によって任命される公務員です。

「遺言は、公正証書で作成してみませんか？」

遺言者の家族関係にふさわしい形で財産を承継させるには、遺言をしておくことが一番です。遺産争いを予防し、紛失の心配もないので、後に残された方々が困りません。原本は公証役場で保存していますので、偽造・変造の心配もありません。

また、公証人が自宅や病院(施設)へ出向いて遺言書を作成することもできます。

公証制度の詳細については、公証役場又は法務局にお問い合わせください。

- 旭川公証人合同役場 旭川市6条通8丁目37番地22 68ビル5階 ☎ 0166-23-0098
- 名寄公証役場 名寄市西1条南9丁目35番地 ☎ 01654-3-3131
- 旭川地方法務局 旭川市宮前1条3丁目3番15号 ☎ 0166-38-1144

日本公証人連合会のホームページにおいても、公証制度を紹介していますので、ご利用ください。

行政相談が開催されます

●行政相談とは

国の行政全般についての仕事・その手続やサービスへの苦情や意見・要望などを皆様から行政相談委員がお聴きし、関係行政機関などへ必要なあっせん（間に入って双方をうまく取り持つこと）を行い、その解決や実現の促進を図るとともに、皆様の声を行政の制度や運営の改善にいかすことを目的に行われています。

相談は無料で、手続等もなく、気軽に利用いただけるとともに、相談者の秘密は固く守られます。

=苦前町での特設行政相談=

期 日 10月18日(月)
場 所 古丹別地区 10時～11時30分
 公民館研修室
 苦前地区 13時30分～15時30分
 苦前地区コミュニティセンター
対 応 西川 加代子 行政相談委員
その他 相談等の予約は不要です。直接相談会場にお越しください。

行政相談のイメージ図



JA北海道厚生連 苦前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科 外来日は

9月：9月16日(木)、30日(木)
 10月：10月14日(木)、28日(木)

受付
 13時～
 16時15分

大変混みますので、なるべく事前の電話予約をお願いいたします。

不明な点がございましたら電話でお気軽におたずねください。



JA北海道厚生連 苦前厚生クリニック (TEL 65-3535)

「技能無料サービスの日」の中止について

例年実施している苦前町総合技能士会による「技能無料サービスの日」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年度に引き続き中止いたします。

苦前町総合技能士会
 (問合せ先：苦前町商工会)

苦前町の交通事故情報

令和3年8月の事故状況

発生件数 0件 死者数 0件 負傷者数 0件

令和3年8月末までの累計

発生件数 2件 死者数 1件 負傷者数 1件

交通事故死ゼロ日数は
 8月31日現在で51日

風力発電の売電状況 (町営風車「風来望」)

令和3年8月分の実績

供給電力量 275,033 kWh
 5,445,653円

9月 町税の納期

今月は、

国民健康保険税
 介護保険料
 後期高齢者医療保険料

の納付月です。

納期内納入にご協力願います。

ご厚志に感謝します			
苦前町へ			
○古丹別	吉田	弘	様
古丹別町内会へ			
○古丹別	吉田	弘	様
町社会福祉協議会へ			
○古丹別	吉田	弘	様
戸籍の小箱			
ご成長をお祈り申し上げます			
氏名	父/母	出生日	住所
小野寺 琴弓	徹記	7/10	古丹別
(長女) 優美			
末永くお幸せに			
氏名	住所	氏名	住所
小笠原 宏一	苦前宮坂	優佳	鷹栖町
謹んでお悔やみ申し上げます			
氏名	年齢	死亡日	住所
吉田 正一	90	7月29日	古丹別
工藤 國一	81	8月9日	古丹別
香西 みどり	84	8月10日	古丹別
坂野 貴恵子	91	8月12日	旭
白府 八重子	88	8月13日	旭
木村 五朗	84	8月13日	力屋

小学生ギャラリー



苫前小学校児童の作品

【けんどうのどうぎ】

1年 輪島 結俐くん

ひご(面の部分)を作るのをいちばんがんばりました。たれのところにははた布がしっかりとついてうれしかったです。



【とけい】

1年 櫻井 凜さん

かいがらをつけるのをがんばりました。白い小さな石のかざりをうまくつけられてうれしかったです。



【第七十八 協宝丸】

2年 小野寺航太くん

なみや船の色が上手にぬれました。船のこまかいところが大へんでした。大漁ばたのところが気に入っています。



【スノードーム】

2年 北村 雁菜さん

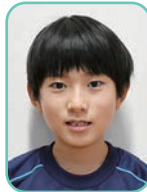
スノーピーとキラキラのラメやビーズを入れました。ふたがりひっくりかえしたりすると、ゆきがふたのように見えます。



【おばけがしゴリント】

3年 輪島 魁俐くん

コマに絵を描くことをがんばりました。コマにストローをつけて、浮き出る感じになるように工夫しました。タンボールを線に合わせて切ったり、組み立てたりするのが難しかったけど、上手にできました。



【コケリウム】

4年 星野 陽都くん

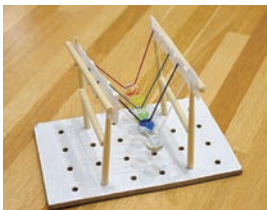
流木を探しにいたり、家にある物を使ったりしました。作る時は、「もののけ姫」を想像して、こだまを置きました。今年の作品が一番よく出来ました。



【カチカチビー玉】

4年 佐藤 早夏さん

左右の糸を調節するのが大変でした。赤、黄、緑、赤、とう明の色のビー玉をかちかちならすことができてよかったです。この作品を作って、動くのが分りました。



【ヒトデと貝がらの写りがざり】

5年 鈴木 夢月さん

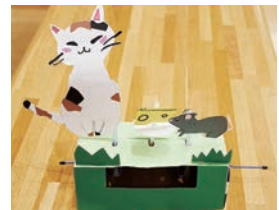
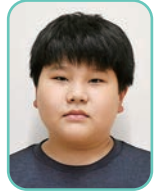
ヒトデと貝がらをあさひもに結びつけるのがおぼろしかったです。ポンドで取れないように工夫しました。



【ご飯の時間】

6年 寺林 聖真くん

ネコとチーズがぶつからないように工夫しました。ネズミがチーズを食べているように工夫しました。



新型コロナウイルス感染防止にご協力をおねがいします。 「新しい生活様式」の実践をお願いします！

ご自身の症状に不安がある場合は、次の窓口にご相談ください。

「新北海道スタイル」はじめよう



手を洗おう



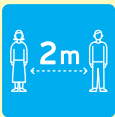
咳エチケット



換気しよう



3つの「密」をさげよう



いまは、きよりとって



テイクアウトやデリバリーも

	電話番号	開設時間
○厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター	0120-761-770 (フリーダイヤル)	9:00~21:00 (土日祝も含む)
帰国者・接触者相談センター		
○北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター	0120-501-507 (フリーコール)	24時間 (年中無共)
○留萌保健所	0164-42-8327	平日 8:45~17:30
○厚生労働省電話相談窓口	0120-565-653 (フリーダイヤル)	9:00~21:00 (土日祝も含む)